

KSKP BUG^{バグ} No 68

発行人／関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2

東興ビル4F

編集人／〒601-8036 京都市南区東九条松田町62

NPO法人日本自立生活センターワークス共同作業所

TEL (075) 682-3201

FAX (075) 682-3330

http://kyoto-j-works.com/

Eメール saba@mediawars.ne.jp

編集責任者 大崎雅彦

ポツポツと、
思みのリズムや橋爪の空。

目次

特集

JCIL&WORKS アートフェスタ2014 2

—— 作品募集のお知らせ ——

連載

広がれワークスの輪「京都銀行東九条支店」 . . 3

イベント報告 4

ワークスリレー・エッセイ・自立生活と私 ・小松満雄 . . 5

ルーペ八木の「占い雑記考」 5

イラストーク 2014 長井秀美 6

NAKAJIMA'S EYES 「お祭」 7

あしあと&あとがき 8



書／小松満雄



九条ネギ姫

アートフェスタ 2014 にむけて

この夏、初めての試みである、JCIL & WORKS
アートフェスタ 2014 をおこないます。
今号ではこのイベントへの取り組みについて、
下記に所長自らその意気込みを熱く語りました！

ART

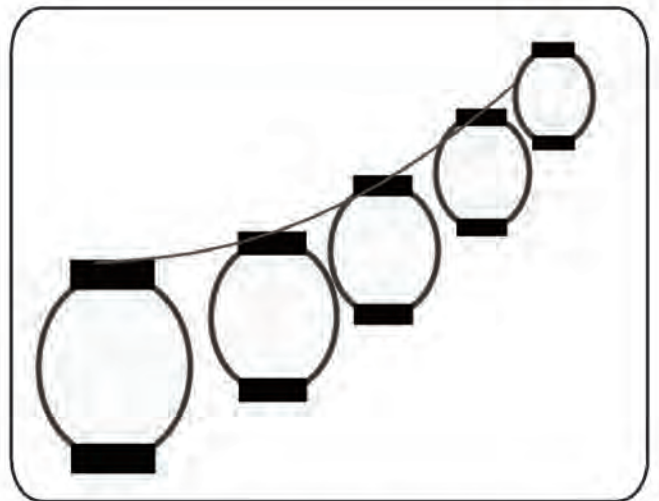
この展覧会には三つの大きな柱があるように
思います。テーマ、展示場所、そして応募資格
の三つ。この三つの点についてワークスの大
崎所長へ質問し答えていただく形でこのア
ートフェスタについて話をしてもらいました。

Q. 今回は、「未来に繋ぐ」をテーマにした展覧会です。
具体的にどんな展覧会にしたいと思われていますか？

A. 具体的に夢や希望がみえる(創造できる)作品を
待ってます。楽しく解り易い、ワークスみたいな明
るい展覧会ということでしょうか。

Q. 応募要項には、手法も制限がないし、グループ
も参加できるとあります。その点は障害のある創作活
動に励む方への配慮もありますか？

A. 基本的に何でもありだと思っています。盗作、
贋作、見た人が嫌な気持ちになるもの以外はOK！



Q. 次に場所です。JCILやワークスと関係の深い場
所で展示をするのはどうしてですか？

A. 東九条の地域でみんなの馴染みのある場所で経
済的にもバリア的にもありがたい場所です。

Q. そして三つ目ですが、応募資格が、障害者とその
関係者を対象にしています。これはどういう意味が
ありますか？

A. 障害者だけではなく周りの人権意識のある多く
の人たちを対象としています。

Q. 最後になりましたが、展覧会全体について何かひ
とことお願いします。

A. 観に来てくれた人が「僕(私)も何か作って(描い
て)みよう」と思ってもらえるような展覧会にしたい。

アートフェスタ2014では作品を募集しています
お問い合わせは、ワークス共同作業所の大崎まで。
よろしくお願いします

「広がれワークスの輪」取材しちゃいました

思わず、いきなり!

第4回

「京都銀行東九条支店様」

ワークス共同作業所も、日常的にお世話になっている京都銀行九条支店様へ今回はインタビューしてまいりました。ぜひご覧ください。

取材に応じてくださったのは星瀬さん（文中=Kさん）



いつもさわやかな対応が魅力です・・・

～いつもワークスがお世話になってます。

今日は通帳じゃなくてインタビューをお願い致します（笑）～

Kさん： はい、いつもありがとうございます。どうぞ、よろしくお願い致します。

～皆さんにとっての地域コミュニティとはどのようなことでしょうか。～

～まずは車いす利用者と高齢者への対応等、皆さんが配慮されている点がありますか？～

Kさん：やはり私達も京都という地域でお仕事をさせて頂けるのでいつも地域の方々には支えて頂き、助けて頂いていると感じます。私達も地域の方々の支えになれるよう、助けになれるように、何時も心掛けているので、お互いに支えあえる様な関係を築いていければと思っています。

Kさん：車いすご利用の方ですとか、ご高齢の方は私達と目線の高さであるとか、そういう違いを考えて、なるべくお客様の立場に立ってお客様からの目線で見るとどのように見えているかを注意して対応に心がけています。

～皆さんからお客さんへメッセージがありましたらお願いします。～

～それでは、次に日常業務で苦労されていることや困ることはどんなことですか？～

Kさん：やはり私達の仕事はお客様があつてこそのもので、少しでも「来られた時よりも喜んで帰って頂ける」ようにいつも努力しております。これからも少しでも皆さんのお力になればいいなと思っています。

Kさん：困ることというのは特にはないのですが、やはり銀行はお金を扱うところがあるので、お客様の大切なお金を扱うというところにすごく責任を感じる仕事です。いつも注意力を持って集中をしながら仕事をしなければいけないところが大変なところでしょうか。

～今日は、お忙しいところ、ありがとうございました。～

～この仕事をしていて良かったとおもうことは何ですか？～

Kさん：ありがとうございました。どうぞ、今後ともよろしくお願い申し上げます。

Kさん：銀行はお金を扱う仕事ではあるのですが、お客様のご意向をお聞きしながら、なるべく期待以上のサービスをするように、いつも私達は心がけているんですね。なのでお客様に有難うという言葉をかけて頂いた時がやはり一番やりがいを感じます。言って頂くととても嬉しいです。

インタビューを終えて

ワークスのご近所であり、地域の銀行として日々、業務に勤しむ皆さんです。窓口、ATM、どこにいてもさわやかな接客をしてくださる、とても親切な京都九条支店様、これからも、長～いおつきあいをお願い致します！

所属一同

イベント報告

work's フォークス

春よ来いお餅つきを開催

3月21日春分の日にお餅つきを行いました。
あいにく雨が朝から降りだし寒い一日でした。
そんな中、お餅つきがはじめられて、お餅をべったんべったんとつきました。あんこもちと、きなことお餅が次々出来上がりました。他にも納豆餅、大根おろし餅などもふるまわれました。おいしく頂き「やっぱりつきたてのおもちは、おいしいなあ」とみんながお腹をふくらせました。お手伝いして食べられてみんなが大喜びの一日でした。



キャブ・コン

希望の家春祭りに参加して

今年4月12日に行われました。希望の家の春まつりは年に1回で希望の家の春まつりが、出来た年から3年でワークスは、当初から出させて頂いています。去年は、当日の朝に地震がありましたが、出店の綿菓子やおもちゃの売れ行きは、まあまあでした。今年は、去年の暮れから今年の春まつりの会議が始まり、3週間に1回ペースで行なわれました。4月12日当日春まつりがはじまって1時間余りで、綿菓子の所に列が出来はじめた時に、綿菓子機から火花が散り温度も下がって綿菓子が、出来なくなりました。急遽、綿菓子機をしまつて、野菜とおもちゃを売り、少し離れた所で手相の方もやりました。

春まつりが終わり、後片づけも終わってから打ち上げにも参加させて頂きました。



キャンドルナイトを楽しみました

4月18日にJCL Iの前の駐車場でキャンドルナイトがありました。自分達で飾り付けや好きな絵を書いたりしました。点灯は19時になってから点火をしました。とってもきれいでした。おにぎりを食べながら見ました。来年も是日やってください。



JCIL&WORKS Art Festa 2014 作品募集

「^{みらい}未来に^{つな}繋ぐ」

とき、2014年8月23日(土)～25日(月)

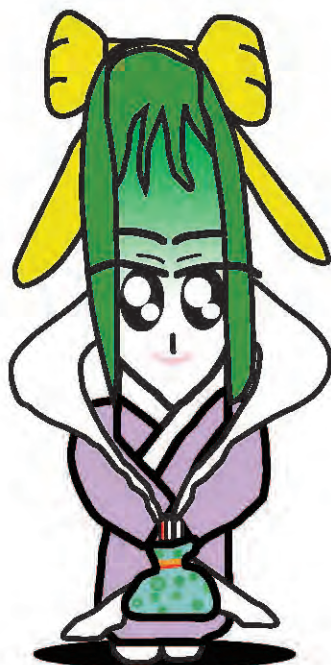
ところ、京都市地域・多文化交流ネットワークセンター

内容、障害者及び関係者の芸術文化工芸作品展

絵画、書、陶芸、写真、その他諸工芸

障害のある人が地域や施設で生活していく中で自分を表現する手段としての芸術、工芸の作品を募集します。

未来を想像させる伝統文化、又は新しい技術、手法、発想、考え方で作られた作品を募集します。多くの人に障害のある人がどのようなことを考えて創作活動をしているのかを作品を通して見てもらう場とします。



申込・問い合わせ

日本自立生活センターワークス共同作業所、アートフェスタ係(担当、大崎雅彦)

TEL : 075-682-3201 FAX : 075-682-3330

E-mail : saba@mediawars.ne.jp

主催、(仮)JCIL・WORKS周年記念プロジェクト



JCIL&WORKS Art Festa2014

日本自立生活センター&ワークス共同作業所アートフェスタ 2014

障害のある人が地域や施設で生活していく中で自分を表現する手段としての芸術、工芸の作品を募集します。

未来を想像させる伝統文化、又は新しい技術、手法、発想、考え方で作られた作品を募集します。多くの人に障害のある人がどのようなことを考えて創作活動をしているのかを作品を通して見てもらう場とします。

- テ ー マ 「^{みらい つな}未来に繋ぐ」
- 日 時 2014年8月23日(土)～25日(月)
- 場 所 京都市地域・多文化交流ネットワークセンター
- 内 容 障害者及び関係者の芸術文化工芸作品展
(原則として全ての応募作品を展示)
- 募集作品 絵画、陶芸、写真、書、彫刻、その他
- 応募資格 障害のある個人又はグループ及びその関係者
- 応募締切 2014年6月30日まで(必着)
- 応募方法 別紙(申込書)に必要事項を記入の上、受付確認の書類を送付する封筒(住所氏名を記載、切手貼付)を同封のうえ事務局まで送付してください。
受付後、受付番号を記載した受付確認表を送ります。
- 作品形態 絵画、写真、書 → 500mm×1,500mm(壁面に吊り下げ可能な額装を含む) 絵画、写真、書→ 500mm以下(幅)×1,500mm以下(高さ)、(壁面に吊り下げ可能な額装を含む)
彫刻、陶芸、工芸等 → 500mm×500mm (以下)
20kg以下の平面に設置可能なもの
- 出品料 無料(搬入、搬出の経費は各自負担)
- 作品展示 原則として応募のあったすべての作品を展示しますが、応募点数が多い場合展示できない可能性があります
参加者希望者が集中した場合は、厳正なる抽選・審査の上、参加を決定させていただく場合がございます。
- 作品搬入 持込み(ワークス)・郵送・宅配(元払)による
作品票を必ず貼付してください
- 作品搬出 直接引取り(ワークス)・宅配(着払)
- その他 出品作品については充分注意して取り扱いますが、天災、その他不可抗力による作品の破損等の責を負いません
規格外の作品は受付できませんが、規格内であっても、主催者の判断により受付をお断るすることがあります。(生物、他の作品に影響を及ぼす作品等)
第三者の権利を侵害する作品、またはその他の理由により、当イベントの展示内容にふさわしくない作品が展示されている場合には、事務局の判断により撤去させて頂く場合がございます。
事務局では広報を目的として、会場風景や出展内容を写真・映像撮影させていただきます。撮影された写真はウェブサイトや印刷物にて使用させて頂く場合がございますので予めご了承下さい。

申込・問い合わせ

日本自立生活センターワークス共同作業所、アートフェスタ係(担当、大崎雅彦)

TEL : 075-682-3201 FAX : 075-682-3330 E-mail : saba@mediawars.ne.jp

主催、JCIL・WORKS周年記念プロジェクト

JCIL & WORKS Art Festa 2014

提出年月日

出品申込書

部 門	(該当するものに○を付けてください) 絵画 ・ 陶芸 ・ 写真 ・ 書道 ・ 緒工芸 ()
作 品 名	
サイ ズ 平面作品 立体作品	タテ () mm × ヨコ () mm 幅 () mm × 奥行 () mm × 高さ () mm、重さ ()
素材手法等	
作品展示場の注意点	

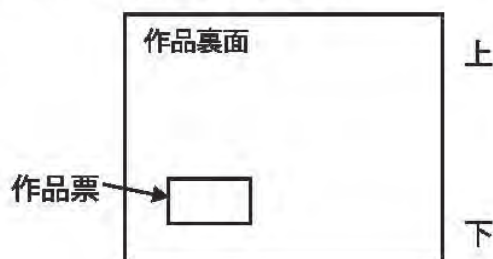
*サイズは、平面作品・立体作品ともに、額縁などを含んだサイズを記入してください。

ふりがな			
作者名 グループ名			
ふりがな			年齢
氏名 (本名)			歳
現住所	(〒 -)		
	電話	()	-
連絡先	(昼間に連絡のつく所を記入して下さい、携帯電話等)		
所属先名			
障害種別			
制作人員	(グループの場合)		

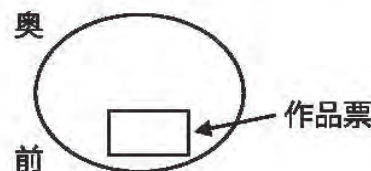
作品搬入	1 直接搬入	2 郵送・宅配便	何れかに○をつけて下さい
作品返却	1 直接搬入	2 郵送	何れかに○をつけて下さい
	(宅配の場合、配送策の住所・氏名) (〒 -)		
	電話	()	-

JCIL&WORKS Art Festa2014 作品搬入における注意事項

- 1 作品の搬入については下記の作品票に「受付番号」「作品名」「作者名(またはグループ名)」を記入し作品の裏面など展示の際に隠れる場所に貼り付けてください(上下等が間違えないように貼り付けてください)



立体作品の場合も前後が判るようにしてください



- 2 紛失しては困るような梱包ケース等は氏名、作品受付番号を明記してください

3 搬入及び返却

搬入日時 8月18日(月)～19日(火)・AM10:00～PM4:00

返却日時 8月26日(火)・AM10:00～PM4:00

<http://www.mediawars.ne.jp/~saba/>



特定非営利活動法人
日本自立生活センター
ワークス共同作業所
〒601-8036 京都市南区東九条松田町6 2
TEL: 075-682-3201
FAX: 075-682-3330
E-mail: saba@mediawars.ne.jp
AM10:00～PM 4:00

作品票

受付番号
作品名
作者名 (グループ名)

※縮小、拡大して使用して下さい

ワークスリレー・エッセイ「自立生活と私」

自立生活をエンジョイ中・・・。

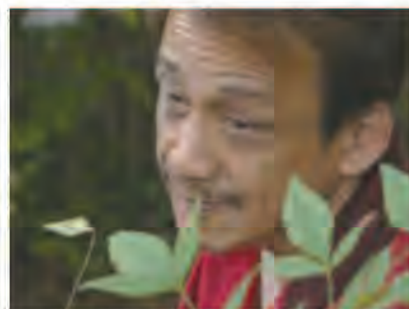
小松 満雄（こまつ みちお）

私は、10年前、同居していた母が亡くなったのをきっかけに向日市で自立生活をはじめました。京都市へ来てからまる2年が過ぎました。向日市は介助の内容が京都市と違って重度訪問介護の支援が受けられなくて、身体と家事と移動の支援でわかれていた上、派遣時間も短く日々の生活に追われて疲れて寝てばかりいました。

今は、京都市内に引っ越して自立生活を続けています。昼間は、JCILの活動やワークスで仕事をしています。休日は書道をしたり、ヘルパーさんと一緒にプールへ行ったり、遊びに行ったりして楽しんでいます。

私は身の周りのことは大体できるので、かえってヘルパーさんとの関係が難しいことがあります。それで今、私は悩んでいます。

でも、私は自分なりに自立生活をエンジョイしています。



渾身の表現力で書を「アート」する小松さん。

プロフィール

ワークス歴・3年。
書家としても活躍中。
BUGの表紙題字も担当している。
好物は炭水化物。

心の
すけ

金
活

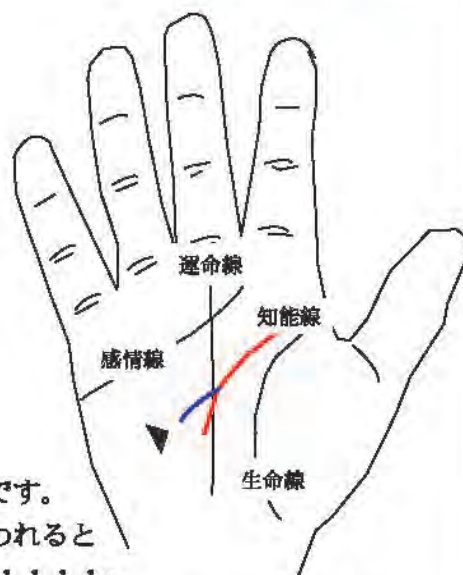
ルーベ八木の手相雑記考 ～まずは、自分を大切に～



前号までは「運命は変えられる」とか
「生命線が短いからといって短命ではない」
ということを述べてきました。
もし、手相の中に悪い線があったとしても、
自分の行動や思い、気持ちで変化するのです。

手相が良くないといわれると、どうしても気になりますが、
例えば「過去」や「他人」は変えられないとして、「今」は
変えられるということ。それは自分自身が「運命は変えられる」と
信じて行動することに他なりません。
まずは、自分自身を丁寧に扱うことがその第一歩となるでしょう。
立ち居振る舞い、所作etc・・・。

気づかないなかにも、実はたくさんの「喜び」が目の前にはあるのです。
今、苦しい状況にあればこそ、見えてくる「幸せの線」は必ずあらわれると
思います。
止まない雨はないのですから・・・。



次回からは貴方もできる手相鑑定についてお話します・・・。

work's art avenue

ワークスの素敵なアーティスト達が
集うコーナー～その世界をどうぞ～

イラスト〜ク 2014



今年度最初にご紹介するのは、やさしい色遣いで癒されるイラストと評価される長井秀美です。

プロフィール

長井秀美 (ながいひでみ)

バレエ&宝塚とお料理、お菓子作りをこよなく大好きなアラフォー世代。



繊細なタッチで、描かれるのは自然をモチーフにした作品群。
季節感溢れる描画に注目が集まる作家です。

NAKAJIMA'S EYES



いにしえからの願いを伝えて・・・

祭（まつり）とは、感謝や祈り、慰霊のため、神仏及び祖先を祀る行為（儀式）である。

農耕民族は豊穡への感謝と祈りが主であり、狩猟民族は、豊猟を祈願する儀礼が主であった。

そもそも「祭り」とは、古代の「政」（まつりごと）に端を発する。「政」は神々を「奉（たてまつ）る」、厳粛な儀式であった。人々は営みの全てを神に委ね、祭を通して災いを振り払い、吉事を齎（もたら）すようにと祈願した。

後（のち）になって、疫病や悪霊の退散を願うようになる。

「京都の祇園祭」はその典型的なものではないかと思う。

京都には沢山の祭がある。葵祭に時代祭、鞍馬の竹伐り（たけきり）会（え）式、花背の松明（まつ）上げ。嵯峨野には、今でも六斎念仏を踊りに来る。

五山の送り火、明治以前には、十山在ったとか？大文字、左大文字、鳥居形、舟形、妙法。この他に「い」、「一」、「竹の先に鈴（竿に鈴）」、「蛇」、「長刀」。合計十山で行われていたとか。

祭りの意義は、世界の始まりの時間を神と共に過ごすことにある。

祭りの中での人は、人の時間ではなく、正気や秩序を失い、人は神の世界にいる。同時に神々と共に酒を酌み交わし、人は、歌い、踊る（神代の時代からある行為）。トランス状態になり、神からの啓示を受ける。

そして明日への道標（みちしるべ）にした。

遷宮とは、神霊を復活再生させるためのものだから...

祭りとは、世界の死であり、再生への願いを籠めたもの...

人間の生活の刷新の役割を果たすものでもある。

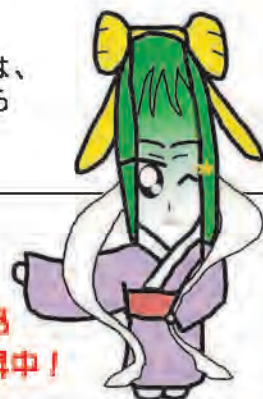
どの民族にも、その形は様々でも、過去の自分を捨て、新しい生命力を回復する、という儀式がある。

それは、人間の本性に共通に備わっている欲求からくるのだろう。

祭についてまとめるのは非常に難しい。

バグの編集担当より...

ご愛読頂きまして、
ありがとうございます。
バグのご感想、ご意見または、
皆様からのご寄稿を皆様から
お待ちしております。
よろしくお願いします。



手づくり市であいましょう。 ——— ワークスは、皆さんのまちにいきます。

毎月8日・・・ほていまつり（宇治・黄檗山萬福寺）

毎週火曜日（午後1時～）/8日/24日・・・宇治・黄檗山聖林院・

毎月第三日曜・・・京都・藤森神社（※開催日変更有り）

**オリジナル商品
占いも人気上昇中！**

あしあと — 2014年2月21日～6月1日

- 2月28日(金) 「相談支援事業」勉強会14:00～(本体)
3月1日(土) 希望の家ミニバザー(出店)
3月2日(日) 国際障害者年連続シンポジウム
「障害者運動のバトンを次世代にどうつなぐか」
3月8日(土) ほていまつり(出店)
3月16日(日) 藤森神社手作り市(出店)
3月20日(木) 消防訓練
3月21日(金祝) JCIL春よこい祭り(餅つき)
3月24日(月) 聖林院法要
4月4日(金) 田中先生訪問
4月8日(火) ほていまつり(出店)
4月11日(金) 合同花見(梅小路公園)
4月12日(土) 東九条春まつり(出店)
4月20日(日) 藤森手作り市(出店)
4月24日(木) 聖林院法要
5月2日(金) 田中先生訪問
5月8日(木) ほていまつり
5月9日(金) 畑
5月18日(日) 藤森手作り市(出店)
5月24日(木) 聖林院法要
6月1日(日) 向島にっこりフェスティバル



姫のつれづれ日記 それゆけ九条ネギ姫 demi



編集後記

今回は久々に、インタビューで京都銀行様へ行きました。インタビューは今回で2回目でした。前回より上手くなったかはわかりませんが、バグの編集で特に力になれることなので、事前の打ち合わせ通り聞く事はお聞きすることはできたと思います。

今回はインタビューをおもに担当させていただきましたが、インタビューは他では経験出来ないことなので、この経験を他の仕事でもいかせたいと思います。(文句垂れ僧)

昨年度当所機関紙であるBUGをチーム編成で作ることになりました。以来、編集作業に色々関わらせていただき、この一年、多くのことを学ばせて頂きました。これからも多くのチャンスをもたらるようにこの仕事を通じて頑張りたいです。(Demi.N)

今回は僕が毎週京都銀行に取材にいきました。とても親切に対応してもらってよかったてです。(M・M)

この機関紙の仕事は、本当にやりがいのある仕事です。いつまでも続けていこうと思います。

(えき田 大輔)

